

第12回木材利用研究発表会 プログラム

日時 平成25年8月29日(木) 13:30～17:15 (受付・開場:12:30～), 30日(金)9:00～14:45
会場 公益社団法人土木学会 土木会館2F 講堂
主催 公益社団法人土木学会(担当:木材工学委員会)
後援 一般社団法人日本森林学会, 一般社団法人日本木材学会,
公益社団法人砂防学会, 一般社団法人日本建築学会,
公益社団法人日本木材加工技術協会, 公益社団法人日本木材保存協会,
木橋技術協会



*土木学会 CPD プログラム(8.0 単位)
(この CPD 単位は建設系 CPD 協議会により相互承認されます)

平成25年8月29日(木) 1日目

13:30 開会挨拶

土木学会 木材工学委員会 委員長 本田秀行 (金沢工業大学)

13:40～14:35 セッション1

座長 佐々木 貴信 (秋田県立大学)

(1) 長野県内における木製遮音壁の新設

柴田 直明 (長野県林業総合センター)

(2) 木製ガードレールの普及拡大に関する調査

張 日紅 (和光コンクリート)

(3) 木製道路施設における現状と課題

加藤 英雄 (森林総合研究所)

14:50～15:45 セッション2

座長 荒木 昇吾 (服部エンジニアリング(株))

(4) 角材を用いたオンサイト応急橋のせん断挙動

滝田 拓史 (秋田大学大学院)

(5) 厚さ方向に二分したラミナを挟んだプレストレス木床版橋の研究

中嶋学夫((一財)秋田県建設・工業技術センター)

(6) 25年経過した上路式アーチ木製車道橋の健全度と構造性能

本田 秀行 (金沢工業大学)

16:00～17:15 特別講演

座長 渡辺 浩 (福岡大学)

錦帯橋と木造文化－平成の架替工事－

岩国伝統建築協同組合代表理事

中村 雅一 氏

17:30～19:00 懇親会

土木会館講堂

平成25年8月30日(金) 2日目

9:00～9:55 セッション3

座長 明石 浩和(京都府農林水産技術センター)

(7) 木質土木構造接合部に異形棒鋼を用いたときのせん断耐力の推定

野田 龍(秋田県立大学大学院)

(8) 木製ハイブリッド治山構造物の静的耐力に関するFEM解析

千田 知弘(福岡大学)

(9) カラマツ製治山施設の劣化

山内 仁人(長野県林業総合センター)

10:10～11:05 セッション4

座長 原 忠(高知大学)

(10) 既設戸建住宅を対象とした丸太を用いた液状化対策技術に関する研究

村田 拓海(福井工業高等専門学校)

(11) 丸太打設液状化対策の大型振動実験結果

三村 佳織(兼松日産農林株式会社)

(12) 丸太打設による液状化対策に対する丸太からの距離の影響

小川 秀成(長岡技術科学大学大学院)

11:20～12:20 ポスターセッション

座長 荒木 昇吾(服部エンジニアリング(株))

(P-1) 丸太打設により液状化対策したときの炭素貯蔵効果

池田 浩明(昭和マテリアル株式会社)

(P-2) 模型地盤に丸太打設し液状化対策した地盤の特性

沼田 淳紀(飛鳥建設株式会社)

(P-3) ぐんま型木製ガードレールの開発と初期の劣化状況

町田 初男(群馬県林業試験場)

(P-4) 木製魚道隔壁の取り付け構造に関する実験

平沢 秀之(函館工業高等専門学校)

(P-5) テーパー形状が木部材ボルト接合部の機能に与える影響

渡邊 敬史(宮崎大学大学院)

(P-6) LVLプレストレス木床版の緊張力変化に関する研究

佐藤 裕太(秋田工業高等専門学校)

(P-7) 角形鋼管を床版に用いた集成材桁橋「中川原2号橋」の架設

佐々木貴信(秋田県立大学)

(P-8) 錦帯橋の世界遺産化に向けた岩国市の取り組み

岡崎 賢治(岩国市)

12:20～13:20 休憩

13:20～14:15 セッション5

座長 平沢 秀之(函館工業高等専門学校)

(13) 木製構造物の維持管理手法に関する研究

伊藤 遼太(秋田工業高等専門学校)

(14) 木部材の内部腐朽検査に対するサーモグラフィー法の適用について

松岡幸士朗(宮崎大学大学院)

(15) アーチ橋として利用されていたボンゴシ部材の残存強度に関する検討

渡辺 浩(福岡大学)

14:15～14:45 全体質疑

14:45

閉会挨拶

土木学会木材工学委員会 論文集編集小委員会委員長 渡辺浩(福岡大学)

